

【教育目標】

豊かな心をもち 学び続ける たくましい子ども

3つの約束の徹底

- 1 自分が人からされていやなことはしない・言わない。
- 2 自分の能力は、伸ばせると信じ、失敗してもやり抜く。
- 3 良いことをする勇氣・悪いことをしない勇氣をもつ。

教職員の資質・能力の向上

授業力 統率力 対応力 関係組織力  
長所伸展 立ち居・振る舞い

連携

保護者 地域住民 中学校区  
保育園 関係機関 学校運営協議会

学校は、安心、安全なところ。子どもも職員も、向上心をもって協働的に切磋琢磨するところ。

徳育

◆ 豊かな心をもつ子ども

知育

◆ 学び続ける子ども

体育

◆ たくましい子ども

成果（☆達成目標）

○教育活動

◎運営活動

＜重点をかける活動＞

- 「思いやり・人権」に関わる道徳の授業を各学期1回以上行う。
- 縦割り班での活動（清掃など）や、異学年交流（遊び・学習など）を各学期1回以上実施する。
- ◎「思いやり・人権」に関わる児童の考えや思いを、たよりや懇談会等で保護者に各学期1回以上発信する。
- ◎自己肯定感の向上やよりよい人間関係を目指し、自分の思いを相手に伝える活動を各学期1回以上計画して実施する。

＜重点をかける活動＞

- 個別最適な学びや協働的な学びの実現に向けて、対話を通して学び考えを深める授業を行ったり一人一台端末や電子黒板等のICT機器を有効活用したりする。
- 家庭学習目標時間を個別の生活に位置付けて家庭学習に取り組むことができるように「家庭学習ガイド」を活用したり個に応じた指導を行ったりする。
- ◎対話のある学びやICT機器の活用に関する研修や資料提示を学期に3回以上行い、日々の授業改善につなげる。
- ◎学期に1回以上たよりや懇談会等で家庭学習について保護者と情報交換を行い、協働して家庭学習に取り組ませる。

＜重点をかける活動＞

- 運動ができる喜びや、運動技能の向上が体感できる授業を各学期に1回以上行う。
- 実態の改善に向け、各学期に1回以上保護者に向けて、睡眠やメディアコントロールの大切さを啓発する（学年懇談会や学年だよりなど）。
- ◎運動の意欲や技能の向上を図る指導の工夫や学習カードの工夫を学期に1回以上行う。
- ◎睡眠・メディアコントロールの大切さを学ぶ場（保健委員会の活動、保健だよりを活用した学級指導）を、各学期1回以上設ける。

